

小型オゾン発生装置 認定制度とは？

オゾンは高い脱臭効果、除菌効果を持ち、様々な場所で使用され、快適で安全な環境づくりに役立っています。しかし、オゾンは濃度が高くなると人体に影響を及ぼしたり、金属など材料の腐食を招く恐れもあるため、安定性や耐久性などオゾン発生装置には高い品質が求められます。

過去、一部メーカーに対して、「うたわれた通りの効果が無い」「すぐに故障した」「メーカーと連絡がとれない」などの声が使用者からあったことを受けて、特定非営利活動法人 日本オゾン協会では、安心して使って頂ける品質を有したオゾン発生装置を社会に供給するため、オゾン発生装置の認定制度を設けました。

オゾン発生装置を製造する事業者（輸入業者も含む）の生産・品質管理体制、アフターサービス・クレーム処理体制、またその製造事業者で製造される製品（型式）が安全かつ有効に使用できる品質を有しているかどうかを、日本オゾン協会が独自に定めた基準をもとに審査し、その基準をクリアした製造事業者や製品（型式）を認定しています。



小型オゾン発生装置認定制度の大切な 4 ポイント

1 オゾンの専門家が厳しく審査します

認定審査は日本オゾン協会が選任した認定審査委員により製品仕様を満たしていることが厳しく審査されます。

【認定審査委員】（2021年7月現在）

委員長 葛本 昌樹（元東京工業大学 特定教授）
副委員長 山部 長兵衛（佐賀大学 名誉教授）
他、学術研究者、オゾン発生装置メーカー代表

2 認定を受けた製品には認定マークを表示しています



標準マーク



小さく表示する場合

3 オゾン発生装置の製造事業者がはっきり分かるから安心です

日本オゾン協会ホームページにおいて認定を受けた製造事業者（輸入業者も含む）、製品の型式、認定年月日、有効期間が分かります。



http://www.j-ozone.org/system/sys_pro.html#sys_pro2

4 生産物賠償責任保険（PL保険）に加入することを義務付けています

製造事業者（輸入業者も含む）には生産物賠償責任保険（PL保険）に加入することを義務付けているので、万一、製造上の欠陥で事故が発生した場合には、製造事業者の責任で補償されます。

